令和４年度

若年技能者人材育成支援等事業 推進計画

令和４年６月１４日

千葉県技能振興コーナー

（千葉県職業能力開発協会）

目　次

Ⅰ　本事業の目的、内容、及び実施期間

１　目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

３　実施期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　令和４年度における事業の推進計画

１　地域における技能振興事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　ものづくりマイスターの認定、登録　・・・・・・・・・・・・・ 2

３　ものづくりマイスターの活用　・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

４　地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営　・・・・・ 3

５　目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

参考　令和３年度における事業の実施状況等

１　地域における技能振興事業の実施状況　・・・・・・・・・・・・ 4

２　ものづくりマイスター等の認定状況　・・・・・・・・・・・・・ 6

３　ものづくりマイスター等による実技指導等の実施状況　・・・・・ 7

４　地方公共団体、経済団体等との連携会議　・・・・・・・・・・・ 8

Ⅰ　本事業の目的、内容、及び実施期間

１　目的

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成等が課題となっていることから、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等を図る。

２　内容

技能競技大会の課題等を活用し、ものづくりマイスターの派遣による実技指導を中心に、若年技能者、学生生徒の人材育成を行うことで、技能分野への誘導を図るとともに、熟練技能者等の活用とも併せて各事業を展開し、技能尊重気運の醸成を図る。

事業実施に当たっては、県や地域関係者と連携・協力し、効果的な展開を図ることは従前のとおりであるが、本年度、事業の枠組みが大幅に変更されており、中央技能振興センターとの緊密な連携のもとに、推進する。

主な変更点としては、1.ものづくりマイスター、IT マスター、テックマイスターの３類型が１類型に統合されることに伴い、新規認定要件が策定されるまでの間、新規認定が休止されること、2.マイスター派遣実技指導は、昨年度及び本年度に派遣実績のない新規のもののみ本事業にて実施可能であり、実績ある企業・高校等が希望する場合は、全ての費用負担が必要となること、3.昨年度まで実施していた「小中高等学校の児童・生徒を対象とした、ものづくりの魅力発信講座」事業は、取りやめとなったこと、等である。

３　実施期間

令和４年４月１日～令和５年３月３１日

Ⅱ　令和４年度における事業の推進計画

１　地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

① 技能五輪全国大会の予選の実施

中央職業能力開発協会準備課題により予選を実施する職種及び各都道府県職業能力開発協会が独自の選考基準にて推薦する職種のうち、理容職種、電気溶接職種、造園職種等８職種について、予選会の実施を図る。

参加人員：約 45 名想定

② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

選手及び指導員の旅費、並びに工具等の運搬費の援助を行うことにより、中小企業等の大会参加を促進する。

支援等予想人員：技能五輪全国大会　　選手 15 名　指導員 10 名想定
：若年者ものづくり競技大会　選手 8 名　　指導員 6 名想定

(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組

①技能競技大会展

技能競技大会展に際しては、中央技能振興センター及び関東・甲信越ブロックの幹事県に協力する。　**オンライン開催予定**

②技能士展の実施

技能士展に際しては、中央技能振興センター及び関東・甲信越ブロックの幹事県に協力する。　**オンライン開催予定**

③卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する、令和４年度（授賞後）の卓越した技能者の表彰の被表彰者を紹介するためのコンテンツの作成支援を行う。

具体的には、プロフィールや仕事に対する思い、これから入職する若者に伝えたいこと、作業風景などを取材し、中央技能振興センターに提出する。

対象者：被表彰者決定後に実施

２　ものづくりマイスターの認定、登録

(1) ものづくりマイスターの開拓

職種別認定状況、また、実技指導等の派遣ニーズを踏まえた上で、ものづくりマイスター候補者の開拓（掘り起こし）を行い、認定・登録を進める。

様々な派遣ニーズに対応できるよう認定職種数の拡大を図ると共に、派遣ニーズが高い、機械加工、電子機器組立て、電気機器組立て、菓子製造、婦人子供服、鉄筋施工等の職種について十分なマイスターの手当てがなされるよう、重点的に開拓を進める。

なお、本年度は上半期に認定要件の新規設定及びものづくりマイスター等の類型の統合が行われることに伴い、新規認定開始は下半期以降とされている。

認定者数：３名　［目標］

(2) ものづくりマイスターへの説明

実技指導をより適切かつ確実に実施するためには、技能だけでなく、「指導力」や「本事業に対する理解」を確保することも重要であり、認定されたマイスターに対しては、制度の趣旨、実技指導やものづくり魅力の発信等の重要性、指導技法等講習の必要性を周知するとともに、説明を行う。

過去３年間活動実績のないマイスターについては、活動意思の有無を確認するとともに、意思のあるマイスターには最新版のテキスト等により情報提供する。

(3) 申請書類の取りまとめ

ものづくりマイスターへの申請に係る相談・援助の拠点として、コーナーに窓口を設置し申請書類の取りまとめを含む種々の業務を行う。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

マイスターの指導技法の習得・向上のため、訓練施設指導員等が講師となり、認定されたものづくりマイスターを対象に講習を行う。

また、中央技能振興センターの企画する全国会議、ブロックごとの研修等に積極的に参加する。

実施：２回　［予定］

３　ものづくりマイスターの活用

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

①コーナーにおける相談・援助

コーナーの相談窓口において、人材育成・実技指導等の相談・援助、ものづくりマイスター派遣のコーディネート等を行う。実技指導に必要な設備について中小企業では確保できない等も想定され、コーナーが借用等についてもコーディネートを行うなど、各企業の事情に応じたきめ細かい対応を心がける。

②相談援助、指導ニーズの把握

県内の製造業及び建設業関係の中小企業、教育訓練機関の指導ニーズを把握するため、過去に実施したアンケート調査結果等を活用するなどし、より効果的にニーズを把握し適切なマッチングに努める。

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

実技指導は、最適なものづくりマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練指導のニーズに応じた実技指導を行う。

マイスター活動数	［目標］
：中小企業	３００人日
業界団体	３００人日
工業高校等教育訓練機関	６００人日
公共施設又は民間施設を派遣先とする指導	２８０人日
計	１，４８０人日

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対するものづくり体験等を実施する。

マイスター活動数	［目標］
：	２０人日

(4) 熟練技能者等による派遣指導

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種の派遣要望が寄せられた場合には、内容を精査検討したうえで、製作実演、ものづくり体験教室等、ものづくりマイスターと同様の派遣指導を実施する。

従前にもフラワー装飾、園芸装飾等についての要望が寄せられた。

４　地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

(1) 連携会議の設置

本事業を効果的に実施するため、千葉県、経済団体、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、千葉労働局、千葉県教育委員会等の関係者による連携会議を設置・開催し、本県の産業特性、就業構造等を踏まえた、本事業の推進計画の策定、進捗状況の管理などを行う。

(2) 連携会議の開催回数

年間２回以上（当該年度の推進計画の策定、事業の進捗管理など）

５．目　標

(1) 成果目標

①ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度　　９０％以上

②ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講生の割合　　９０％以上

③ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合　　９０％以上

(2) 活動目標

①ものづくりマイスターの認定者数　　３人以上

②ものづくりマイスターの活動数　　１，５００人日以上

参考　令和３年度における事業の実施状況等

１　地域における技能振興事業の実施状況

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

①技能五輪全国大会の予選の実施

「西洋料理職種」予選　令和 3 年 4 月実施予定であったが新型コロナウイルスの影響により中止

（第 59 回大会への派遣なし）

「造園職種」予選　令和 3 年 5 月 22 日実施

参加者数　9 名

（第 59 回大会へ 1 名派遣）

②技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

第 59 回技能五輪全国大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。

（参考）本県からの参加選手：15 名

選手数　13 名　　指導者数　6 名

第 16 回若年者ものづくり競技大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。

（参考）本県からの参加選手：2 名

若年者ものづくり競技大会参加支援

選手数　2 名　　指導者数　2 名

(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組

①ものづくりマイスター、IT マスター及びそれ以外の熟練技能者の活用

ｱ　イベントの実施

○　八千代ものづくり体験教室

令和 4 年 2 月 19 日・20 日開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。

○　親子ものづくり体験教室２０２１セレクト

千葉市美浜区・花見川区内の小学校児童（高学年）を対象に参加者を募集し、ものづくり体験イベントを実施

開催日：令和４年２月 19 日

場　所：ちば仕事プラザ

講　師：ものづくりマイスター、熟練技能者

体験メニュー：4 職種

・電子機器組立て　・和菓子製造　・畳製作　・フラワー装飾

ｲ　ものづくりマイスター、IT マスター以外の熟練技能者の派遣

小学校での「ものづくり体験教室 ～手づくりみらい教室～」の実施

参加児童数：97 名、実施メニュー数：7 メニュー

図表１　手づくりみらい教室実施結果

日　付	実　施　校	ﾒﾆｭｰ数	指導者数	児童数
11 月 17 日	千葉市立寒川小学校	7	24 名	97 名
合　計		7	24 名	97 名

ｳ　教師等に対する熟練技能者等による実技指導

児童・生徒たちにものづくりの魅力を伝えていくためには学校等教育関係機関の技術科担当教師の理解・技術が不可欠であることから、市町村教育委員会等と連携し技術科担当教師等を対象に、熟練技能者等を派遣し実技指導を実施。

実施件数：2 件

受講者数：36 名

②技能競技大会展の実施

9 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日まで、ポータルサイト上にてオンラインイベントとして開催、周知に協力。

③技能士展の実施

9 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日まで、ポータルサイト上にてオンラインイベントとして開催、周知に協力。

④「地域発！いいもの」応援事業

地域で行われる技能振興の取組や制度を支援、全国的に広報し技能尊重気運を更に高めるため、中央技能振興センター実施「地域発！いいもの」応援事業の実施にあたり、周知、受付、取りまとめ等を行い、中央技能振興センターとともに事業を推進。

令和 3 年 6 月 2 日　協会会員企業・団体、専門高校等に対し応募を依頼。当コーナーホームページに掲載。また、同時に協会ホームページに掲載し募集。

11 月 5 日　応募締切（応募 1 件）

⑤グッドスキルマーク事業

一級技能士等が技能を駆使した製品等を認定・周知するため、中央技能振興センターが実施するグッドスキルマーク事業について、周知、受付、取りまとめ等を行い、中央技能振興センターとともに事業を推進。

令和 3 年 6 月 2 日　協会会員企業・団体、専門高校等に対し応募を依頼。当コーナーホームページに掲載。また、同時に協会ホームページに掲載し募集。

上半期　 6 月 1 日～ 8 月 20 日（応募 4 件）
下半期　10 月 1 日～12 月 10 日（応募 1 件）
製品概要（職種）　畳製作、和裁、タイル張りなど
選定 5 件

⑥卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援事業

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する令和 2 年度及び令和 3 年度の卓越した技能者の表彰の被表彰者を紹介するためのコンテンツの作成支援として、プロフィールや仕事に対する思い、これから入職する若者に伝えたいこと、作業風景などを取材し、中央技能振興センターに提出。

対象者数：2 名（令和 2 年度認定）10 月取材し提出
対象者数：2 名（令和 3 年度認定）令和 4 年 3 月取材し提出

２　ものづくりマイスター等の認定状況

○　ものづくりマイスター認定者数は、実人数 21 人。

認定職種は 14 職種、職種別に見ると、鉄筋施工（3 人）、電気溶接（3 人）、建築板金（2 人）、パン製造（2 人）、内装仕上げ施工（2 人）、機械保全（1 人）、空気圧装置組立て（1 人）、と続く。

○　IT マスター認定者数は、11 人。

認定職種は 3 職種、職種別には、業務用 IT ソフトウェアソリューションズ（6 人）、IT ネットワークシステム管理（3 人）、ウェブデザイン（2 人）、と続く。

○　テックマイスター認定者数は、5 人。

なお、テックマイスターに固有の職種名等はない。

図表２　ものづくりマイスター認定状況

認定職種	人数	認定職種	人数
鉄筋施工	3 人	婦人子供服製造	1 人
電気溶接	3 人	菓子製造	1 人
建築板金	2 人	製麺	1 人
パン製造	2 人	建築大工	1 人
内装仕上げ施工	2 人	タイル張り	1 人
機械保全	1 人	畳製作	1 人
空気圧装置組立て	1 人	表装	1 人

図表３　IT マスター認定状況

認定職種	人数	認定職種	人数
ウェブデザイン	2 人	業務用 IT ソフトウェアソリューションズ	6 人
IT ネットワークシステム管理	3 人		

○　ものづくりマイスター等に対する研修

マイスターの指導技法の習得・向上のため、訓練施設指導員等が講師となり指導技法等講習を実施。

受講者数　18 名

マイスター対象　第１回　令和 3 年 10 月 13 日
第 2 回　令和 3 年 12 月 23 日
第 3 回　令和 4 年 2 月 26 日

IT マスター対象　第１回　令和 3 年 9 月 16 日
第 2 回　令和 3 年 10 月 13 日
第 3 回　令和 4 年 2 月 22 日

３　ものづくりマイスター等による実技指導等の実施状況

(1)実技指導の実施は、派遣ニーズの把握、ものづくりマイスター・IT マスターとのマッチング等の調整後に実施。

図表４　ものづくりマイスターによる指導

指導対象	件　数	のべ受講者数（人日）
企業及び業界団体	30 件	389 人日
高校以上の学校	103 件	2,446 人日
その他	0 件	0 人日
計	133 件	2,835 人日

図表５　IT マスターによる指導

指導対象	件　数	のべ受講者数（人日）
企業及び業界団体	0 件	0 人日
高校以上の学校	2 件	188 人日
その他	0 件	0 人日
計	2 件	188 人日

(2)「目指せマイスター」プロジェクトとして、以下の各種事業を行った

①「ものづくりの魅力」発信

ｱ 小中校等学校の教師・保護者(PTA)を対象とした「ものづくりの魅力」講座等の開催

学校の教師を対象とした「ものづくりの魅力」講座等へのものづくりマイスターの講師派遣　20 件　45 人日

学生生徒の保護者等を対象とした「ものづくりの魅力」講座等へのものづくりマイスターの講師派遣　2 件　21 人日

ｲ 小中校等学校の児童・生徒を対象とした「ものづくりの魅力」講座等の開催

学校の授業等へのものづくりマイスターの派遣　23 件　1,389 人日

②「IT の魅力」発信

学校の授業等への IT マスターの講師派遣　2 件　231 人日

③若者に対する「ものづくりの魅力」発信

地域若者サポートステーションからの要請に応じてものづくりマイスターを派遣

1件　　20人日

合　計　　1,706人日

4　地方公共団体、経済団体等との連携会議

開催回数　2回

(1) 構成メンバー

労働局、県職業能力開発担当課、商工会議所、中小企業団体中央会、商工会、教育委員会、県技能士会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

(2) 開催日及び議題

・第1回開催日

令和3年5月25日（書面開催）

議　題　令和3年度事業推進計画について

・第2回開催日

令和3年12月17日（書面開催）

議　題　令和3年度事業実施状況について

5　全国斉一的な事業展開

(1)センター主催全国会議への対応

・「若年技能者人材育成支援等事業」全国コーナー職員会議

開催日　　令和3年5月20日

開催方法　ZOOMによるリモート開催

2名参加

(2)センター主催ブロック会議への対応

・都道府県ブロック地域技能振興コーナー職員会議

開催日　　令和3年10月12日

開催方法　ZOOMによるリモート開催

1名参加

(3)センター主催ものづくりマイスター職種別事例発表･意見交換会への参加

・ものづくりマイスター職種別事例発表･意見交換会

仕上げ職種　　機械保全職種　　造園職種

開催日　　令和4年2月14日～16日

開催方法　ZOOMによるリモート開催

参加なし

(4)センター主催研修会への出席

・ものづくりマイスター等「指導技法等講習」講師向け養成研修会

開催日　　令和3年11月12日

開催方法　ZOOMによるリモート開催

2名参加　マイスター1名　コーナー職員1名

(5)センター主催研修会への出席

・ITマスター「指導技法等講習」講師向け養成研修会

開催日　　令和3年12月10日

開催方法　ZOOMによるリモート開催

出席者なし